

8月1日から6日の前線による大雨について
～『災害をもたらした気象事例』に資料を掲載しました～

令和4年8月1日から6日の前線による大雨の状況に関する資料をとりまとめました。

気象庁では、大きな被害をもたらした気象事例や社会的な関心・影響が高い気象事例について、気象の状況を取りまとめて『災害をもたらした気象事例』として、ホームページで公表しています。

令和4年8月1日から6日にかけて、日本海から東北地方・北陸地方にのびる前線に向かって、暖かく湿った空気が流れ込んだため大気の状態が非常に不安定となり、北海道地方や東北地方及び北陸地方を中心に大きな被害が発生したことから、当時の大雨に関する資料をとりまとめ、『災害をもたらした気象事例』に掲載しました。

<災害をもたらした気象事例> (気象庁ホームページ)

<https://www.data.jma.go.jp/obd/stats/data/bosai/report/index.html>

問合せ先：大気海洋部 気象リスク対策課 牛島、宮崎

電話 03-6758-3900 (内線 4256、4257)